

記入例
青字：記入箇所

【長野市空き家解体跡地利活用事業補助金交付申請額算出の基礎票】

補助金交付申請額の算出（要綱第5第2項関係）

$$\frac{19,734,160 \text{ 円}}{\text{(対象経費※)}} \times 2/10 = \frac{3,946,000 \text{ 円}}{\text{(1,000円未満切り捨て)}} \text{【A】}$$

【A】又は【限度額100万円】のうち少ない方の額・・・ 1,000,000 円 【C】

《連名で工事請負契約する場合の算出》

$$\left(\frac{19,734,160 \text{ 円}}{\text{(対象経費※)}} \div \frac{3 \text{ 名}}{\text{(連名人数)}} \right) \times 2/10 = \frac{1,315,000 \text{ 円}}{\text{(1,000円未満切り捨て)}} \text{【B】}$$

【B】又は【限度額100万円】のうち少ない方の額・・・ 1,000,000 円 【C】

※消費税及び地方消費税は、仕入税額控除の対象者は含まない。

補助金交付申請額の算定

※建設工事の見積書から対象となる経費（税込み。仕入税額控除対象者は税抜き）を記入。記入例は対象経費 19,734,160 の場合。

（外構工事費などの対象外工事費は除いてください。対象内外が不明な場合は建築指導課までご連絡ください。）

※算定：19,734,160 × 0.2 = 3,946,832 → 3,946,000

（千円未満の832円は切捨て）

※比較：【A】の額と限度額100万円を比べて少ない方の額を【C】に記入する。3,946,000 > 1,000,000 → 1,000,000

《連名で工事請負契約する場合の算出》

※連名で工事請負契約する方も建設工事の見積書から対象となる経費（税込み。仕入税額控除対象者は税抜き）を記入。記入例は対象経費 19,734,160 の場合。

次に連名の人数を記入。記入例は3名の場合。

※算定：(19,734,160 ÷ 3) × 0.2 = 1,315,610.66... → 1,315,000

（千円未満の610円は切捨て）

※比較：【B】の額と限度額100万円を比べて少ない方の額を【C】に記入する。1,315,000 > 1,000,000 → 1,000,000